

地域のみんが
繋がるための

ささえあい活動通信



八木山地区社会福祉協議会ささえあい活動センター長 西尾 詔洋

活動	件数	延べ活動者数	利用者数
移送買物付き添い	4	4	4
買い物代行	2	2	1
病院付き添い	1	1	1
話し相手	3	3	1
安否確認	12	12	2
ゴミ出し	3	27	3
障子貼り	1	5	1
戸の建付け	2	4	2
ATMへ	1	1	1
託児	1	1	1
シャッター補修	1	4	1
不燃物処理	3	6	3
公園トイレ清掃	9	9	1
溝の砂出し	1	1	1
ドア取っ手修理	1	2	1
門扉・簡易扉修理	2	2	2
雨樋修理	1	3	1
縁台補修	3	8	2
包丁・鎌研ぎ	2	1	2
インターホン	1	2	1
波板修理	1	4	1
サンシェードを外す	1	5	1
剪定	1	7	1
壁塗装	1	12	1
服 リフォーム	2	2	2
TV廃棄手伝い	1	2	1

11月のささえあい活動報告です。 困りができたら平日 10時～15時にささえあいの家 ☎377-3400へ連絡してください。材料費の他に、30分以上で技術を要する作業は、事前に見積もりを提示し、作業賃をいただいています。 簡単で短時間の作業は無料です。



依頼者も一緒に、門・倉庫のペンキ塗りをしました。わたしたちにとって、理想の姿です。「できることはする。人にもして差し上げる。できないことはやってもらう」をささえあい活動の趣旨としています。「私たちと一緒に活動してほしい」と望んでいます。ペンキ塗りはできないなら、汚れ防止の新聞紙をもって来る。また敷く。作業後のゴミの始末をする。作業ができなかったら、一緒にいて、おしゃべりをする等、無理のない範囲でできることで参加してください。この活動の目的は、地域の人とのつながりを創ることです。どうかよろしくお願いします。

お神酒 木を切る依頼のあったお宅で、切る前にお塩を撒くのを始めてみました。数日して、石川さん宅で木を切る時、ここではお神酒をささげ、お塩を撒かれました。切りに行ったスタッフがそのお宅の信仰と一緒にだと言うので、御嶽教のお教、そして般若心経を唱えてお参りし、作業をしました。根が伸びて隣地との垣根が壊れてはいけないとの理由であるにしろ、父親が植えた木、命ある木を伐採するのだから、お祈りするのだと言われます。深い精神生活を送っておられる人に触れた思いがいたしました



松が丘の公園のトイレ

気持ちよく使えるように、懸命に掃除しています。2人で、1か月交代で実施しています。



庭の不用品の片付けの手伝いをしました。ぶ厚い発泡スチロールを小さく切りました。大きな金属製のとっても重い枠を移動させました。隣の方が台車を貸して下さったおかげで、楽に運べました。



依頼者も一緒に剪定作業をしました。「できることはする」を実行していただきました。剪定ができないなら、枝を拾う、掃く、そばで話をするなど、作業する者と交流をお願いします。

学校の懇談会時に、託児をしました。スタッフは市の子育てサポーター養成講座受けました。ご利用を待っております。



75歳以上のアンケート結果 128人/627人 20%が「移送サービスを利用したい」

移動に困っている人のために

★つつじが丘1丁目の石原正明さんが、移送サービスに使うようにと、高額な寄付をしてくださいました。おかげで、当分無料で移送サービスが実施できます。

★移送が必要な方は、前日の午前中までに、377-3400 ささえあいの家(10時)~15時)へ☎してください。

★こんな時利用を

・地域内での催し：ささえあいを家の催し・いきいきハウス・いこいのつつじ、シニアクラブ・長寿会の催し 講演会、コンサート、作品展・会合・新春のつどい等

・バス停まで。バス停から家まで。大きな買物を家に運ぶ時

・バスの通らない所に行きたい時。バスの乗り降りが困難な時

※バスが利用できる、自分や家族で行ける人は、このサービスの利用は遠慮ください。「その方が自分でできることまで奪わない」、「自立を妨げない範囲で」活動いたします。

